

長門市におけるフリーWi-Fiによるコロナ対策

法経社会学科 2 年経済コース市川ゼミ

溝口勝哉

1. はじめに

長門市では 2019 年 11 月に株式会社日立システムズと業務委託契約を締結し、集客力の向上と周遊観光の強化のために Wi-Fi 環境の整備に取り掛かった。この取り組みで整備された Wi-Fi 環境を使って、観光地でのコロナの感染対策が試験的に行われている。今回のレポートでは、長門市と日立が協力して行う取り組みがどのようなものか、その取り組みがコロナ禍の観光地でどのように役立てられていこうとしているのか、についてまとめた。

2. 長門市と日立システムズが連携して行っている取り組みについて

長門市は人口減少社会にあっても活力を維持できるまちづくりを進めることが必要と考えており、そのためには交流人口を増加させ、地域産業の担い手の育成や地場産業の振興につながる観光振興を重要な取り組みと位置付けている。こうした中、長門市は、観光振興を通じた地域活性化に取り組むため、「ながとフリーWi-Fi 整備事業」を実施することとし、公募型プロポーザルにより日立システムズと契約した。

本事業では、今後のインバウンド観光客の増加を踏まえ、国内外からの観光客をはじめとした来訪者に対して、情報通信手段の利便性の向上や観光・イベント情報の発信、また、屋外でのキャッシュレス決済のための情報通信手段の提供などを通じて、さらなる長門市への集客力の向上および周遊観光の強化を図る。

具体的には、長門市の主要な観光地である長門湯本温泉や道の駅センザキッチン、元乃隅神社、また、交通の要所である長門市駅や長門湯本駅などに、無料で利用可能な Wi-Fi 環境を整備することにより、ICT を活用した経済効果を実感できる観光振興の実現をめざす。今回整備する Wi-Fi 環境は、これまで日立システムズが自治体向けにクラウドサービスとして提供してきた実績のあるもので、接続時にクラウド基盤と連携し、国内外からの来訪者に多言語で利用可能なサービスを提供することが可能である。この安全で高速な Wi-Fi 環境は、来訪者の位置情報に基づき、各観光地の魅力的な情報発信を支援するほか、屋外店舗でも専用端末なしでキャッシュレス決済システムの設備として利用できる。

さらに、Wi-Fi 環境を活用し、収集するデータの利活用を通じた、デジタルマーケティングによる観光施策の強化に取り組めます。具体的には、各観光地や交通要所に設置したアクセスポイントから得られるログデータを活用し、来訪者数や滞在時間、リピーター数などの可視化や来訪者の動線分析を実施することにより、実現をめざす。

この Wi-Fi 環境は 2020 年 3 月に構築が完了し、利用がスタートしている。

3. ながとフリーWi-Fi を活用したコロナ対策

上記の取り組みにもあるように、長門市は市内の主要な観光地、交通の要所に無料で利用可能な Wi-Fi 環境「ながとフリーWi-Fi」を整備し、2020 年 3 月から供用を開始するとともに、データ利活用による観光振興の実現をめざして取り組みを開始している。取り組みの

中で、「ながとフリーWi-Fi」の利用データの分析から、観光客の約95%が主要な観光地の1か所にしか立ち寄っていないことが判明した。こうした背景を踏まえ、長門市と日立システムズは、長門市内の観光施設や地元企業約30社の協力を得て、新型コロナウイルス感染拡大防止と観光産業活性化の両立をめざす実証実験を2020年11月より開始した。

具体的には、長門湯本温泉街や道の駅センザキッチン、元乃隅神社など、長門市内の主要な観光地計7か所に整備した「ながとフリーWi-Fi」を活用し、観光スポットや混雑状況の確認だけでなく、「ながとフリーWi-Fi」の利用時に入力するアンケート回答に基づいて、観光客の属性に合わせた周遊プランをプッシュ配信します。周遊プランの情報には近隣の観光エリアの各種情報がリアルタイムで配信されるため、当初は予定に無かった観光地や飲食店などへの訪問を促すことが可能になる。また、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、現在、混雑している観光エリアの情報を配信対象から除外し、逆に混雑している観光エリアに居る観光客にはリアルタイムな混雑状況を通知するなど、観光客が安心・安全に楽しめる旅のサポートをする。

これにより、長門市は観光客が自身の属性に合わせて提示された周遊プランを参考に、3密を回避しながら複数の観光地を周遊してもらうことで、観光の満足度やリピート率の向上をめざす。



図 プッシュ配信されるメッセージのイメージ（出所 日立システムズニュースリリース2020年11月27日）

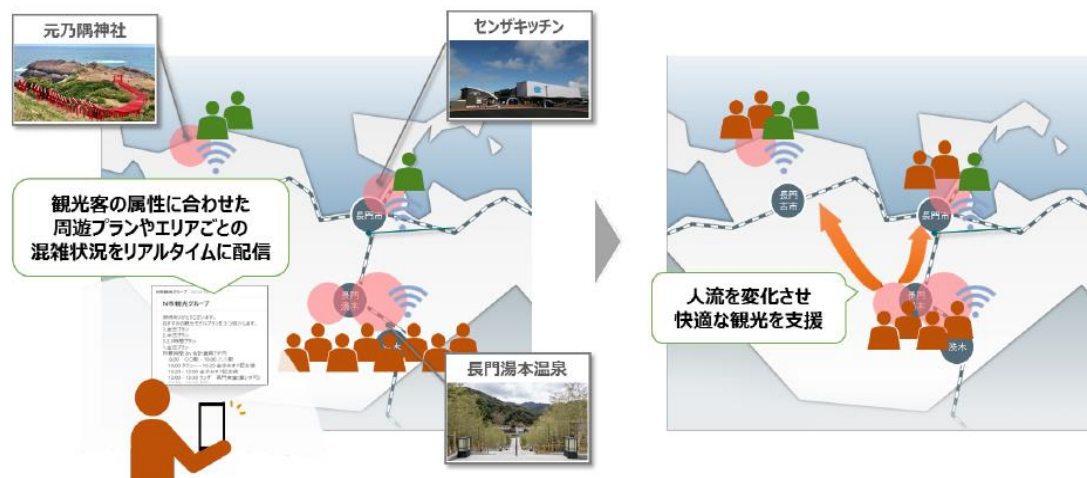


図 実証実験のイメージ (出所：長門市 日立システムズ)

長門市と日立システムズは、本実証実験を通じて、配信情報によって観光客の周遊行動にどのような変化が起こるか、また 3 密を回避できるよう観光エリアの混雑を分散できたかなどを分析する。また、「ながとフリーWi-Fi」から収集する情報をはじめ、ビッグデータを活用して長門市内の人流を分析することで、さらなるデータマーケティングへの活用として今後の観光振興施策につなげる。

4. 感想

長門市では Wi-Fi 環境を活用し、周遊プランをプッシュ通知することで観光客を誘導して 3 密を避けることによるコロナ対策を行っていた。この効果がどれくらいあったのかというのはデータを見つけられなかったのがコロナ対策という点で実際に効果があるのかはわからなかったというのが気になるところだ。個人的には、観光客はあらかじめ観光プランをたてて、観光地に訪れる人が多いと思っているので大きな効果は期待できないと考えている。長門市と日立の行う取り組みにしても、長門市の様々な観光地にしても感染を抑えようとする「守り」の取り組みしか見られず、コロナ禍ならではの観光地の魅力発信などは見られなかった。フリーWi-Fi の整備により、観光客の情報というのは集まってきているので、その情報をうまく活かした観光客を呼び込む取り組みに期待する。

5. 参考文献

ニュースリリース：2019 年：株式会社 日立システムズ (2 月 8 日閲覧)

<https://www.hitachi-systems.com/news/2019/20191113.html>

ニュースリリース：2020 年：株式会社 日立システムズ (2 月 8 日閲覧)

<https://www.hitachi-systems.com/news/2020/20200327.html>

<https://www.hitachi-systems.com/news/2020/20201127.html>

長門市と日立システムズが実証実験 ZDNetJapan (2 月 8 日閲覧)

<https://www.hitachi-systems.com/-/media/news/2020/download/20201127.pdf> (2 月 8 日閲覧)